

記者発表資料



令和5年11月14日(火)

発表の趣旨(※該当する全てにチェック)

- 各種資料や情報の提供
- イベント・会議等の案内
 - 当日の取材依頼
 - 開催日時等の周知依頼
 - 参加者募集の事前告知依頼
- その他(緊急情報)

発表事項

野鳥における高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出について
(県内の野鳥における今シーズンの初確認事例)

内容

令和5年11月11日、12日に出水市で回収され、13日に簡易検査で陰性が確認されたオナガガモ、ヒドリガモ各1羽の死亡個体について、鹿児島大学において遺伝子検査(病原性)を実施した結果、本日、**高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1亜型)が検出されました**のでお知らせします。(県内の野鳥における今シーズンの初確認事例)

また、11月8日に同市で回収され、同日に簡易検査で陰性が確認されたヒドリガモについては、国立環境研究所で遺伝子検査を行ったところ、本日、鳥インフルエンザウイルス陽性反応が検出されたとの発表がありましたのでお知らせします。同ウイルスが高病原性か否かについては、現在検査中です。

1 これまでの経緯

場所	種類	回収日	簡易検査	遺伝子検査
出水市 東干拓	オナガガモ	11/11	陰性 11/13	H5N1亜型 11/14
出水市 東干拓	ヒドリガモ	11/12	陰性 11/13	H5N1亜型 11/14
出水市 東干拓	ヒドリガモ	11/8	陰性 11/8	陽性 (高病原性か否かは検査中)
出水市 高尾野町江内	ヒドリガモ	11/7	陰性 11/7	検査中

※上記内容については環境省HPに本日15時に掲載済み

2 今後の対応予定

回収地点(出水市東干拓)の周辺半径10km圏内を、環境省が令和5年11月13日に野鳥監視重点区域として設定しました。既に設定された野鳥監視重点区域を含めて、野鳥の監視強化を継続します。

資料

・野鳥監視重点区域

ホームページ掲載

なし あり(月 日掲載予定) 後日掲載

取材案内

問い合わせ先

担当課 環境林務部 自然保護課 野生生物係
(099-286-2616) 内線2616

(担当課)

取材対応者 課長 中山 直樹(099-286-2610)内線2610

問い合わせ窓口

環境省自然環境局野生生物課鳥獣保護管理室
直通：03-5521-8285
九州地方環境事務所野生生物課
TEL：096-322-2413